



ジャスミンだより

平成27年 夏号 マミーローズクリニック



6月に入り、これから梅雨の時期を経て本格的な夏へと季節が移り変わっていきます。今年は早くから台風がきたり、まだ春なのに夏を感じさせる暑い日もありました。大人はもちろん、体温調節が未熟な赤ちゃんが少しでも夏に向かって快適に過ごせるよう環境を整えましょう。



赤ちゃんのしゃっくり

赤ちゃんはよくしゃっくりをします。

でも、初めて我が子がしゃっくりをした時、「大丈夫かな～どうしたらいいですか」と心配になってしまうママもいますね。

しゃっくりは横隔膜が痙攣して起こる現象です。うんちやおしっこでおむつが濡れたり、母乳やミルクを飲んで胃が膨れたり、それが横隔膜を刺激するのです。(必ず起こるわけではありません)

赤ちゃんのしゃっくりは大人が思うよりも苦しくないのです、そのまま見守っていても大丈夫ですが、おむつが濡れていないか確認するようにしましょう。替えてもまだしゃっくりが出ていることもあります、そのまま様子を見ていても大丈夫、そのうちに止まります。でも、続けてしゃっくりしていると、止めてあげたい気持ちになってしまいますね。

そんな時には軽く乳首を含ませたり湯ざましを飲ませたりするのも良いでしょう。

これでしゃっくりが止まる場合もありますが、止まらなくても無理に止める必要はないので、あまり神経質にならないようにしましょう。



「こんな時、どうしたらいいの？」

～おもちゃであそばない～



「おもちゃよりも、こっちの方が好きみたいで・・・」というママの声を時々耳にします。テレビのリモコン、携帯電話、家や車のカギ、財布、調理器具、ティッシュなど子どもは大好き。中にはいつ覚えたのかしらと思えるほど上手にリモコン操作をしてしまう子もいます。大人が使っているのを見て、まねしているうちに使えるようになったのです。パパやママが使っているものは子供にとっては魅力的に見えるのです。

大人の行動をまねる時期になればこれは当然の姿で子どもにとってはおもちゃなのです。でも中には子どもが興味をもっても、ボタンやハサミなど誤飲や怪我につながるものもあります。こまめに掃除し、置く場所やしまう場所を工夫するようにしましょう。

せっかく買ったおもちゃに振り向いてもらえない時は、今の発達にあったおもちゃだったのか、考えてみると良いですね。身近に置いてあれば、そのうちに興味をもって遊ぶかもしれません。でも、子どもにとって1番嬉しいのは親子で一緒に遊ぶこと、遊びを作っていくことです。

大人が楽しく遊んでみせましょう。そんな姿を見て子どもは興味を持つはず。そして、男の子はミニカー、女の子はままごとやお人形と大人が遊びを決めるのではなく、いろいろな遊びを経験させてあげることが大切です。

